

# 取扱説明書 NS-HD800IRMPX

## フルハイビジョン2.2メガピクセル暗視カメラ



# 目次

1. 安全のための注意	3
2. 免責事項	3
3. 製品構成	4
4. 各部名称と機能	4
5. 設定画面	5
5-1 画面操作	5
5-2 レンズ	6
5-3 フォーカス調整	6
5-4 露光	6
5-5 逆光補正	6
5-6 デイナイト	7
5-7 ホワイトバランス	7
5-8 デジタルノイズ除去	7
5-9 イメージ	8
5-10 モーション	11
5-11 システム	12
保証書	13

## 1. 安全のための注意

ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止する為のものです。安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。

- 正規の電源を使用してください。指定された電圧を越えるもの (DC12V) を供給する電源にこの製品を接続すると製品に損傷を与えます。
- カメラ本体に金属などの異物を差し込むと感電する場合や火災になる危険があります。
- 濡れたままで、または埃をかぶった状態で使用しないでください。  
製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。また濡れた手で本製品を扱うと感電する危険があります。
- 本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らせられた布を使用してください。溶剤は厳禁です。
- 製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおい又は煙の出る場合は直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。
- 分解・改造などは故障の原因となり、また保証対象外となります。
- 製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶついたりして破損しないよう注意深く扱ってください。
- 万一、通常の使い方でご故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。
- カメラは、埃の多いところ、高温多湿のところ、直接太陽光などの強い光が入るところでの使用は避けてください。

## 2. 免責事項

- 本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。
- 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。
- 本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。弊社では機器の故障、不具合、トラブルに対しての出張対応は行いません。修理、設定、などについては SEND BACK 方式にて対応させていただきます。



## 5. 設定画面

### 5-1 画面操作

- メニュー画面の設定は本体ケーブルの設定ボタン（P5 参照）で操作します。
- 「決定ボタン」を押すと、画面上にメニュー画面が表示されます。
- メニュー画面上の文字が黄色となっている状態がカーソル表示項目となります。
- カーソルを移動させる場合は、「UP ボタン」「DOWN ボタン」を押してください。
- 設定項目や数値を変更する場合は、「L ボタン」「R ボタン」を押してください。
- 項目を決定する場合は「決定ボタン」を押します。
-  アイコン」のある項目は次画面があります。「決定ボタン」で次画面へ移動します。
- 前画面に戻る場合は、カーソルを「戻る」へ移動させ「決定ボタン」を押します。
- 設定項目は、変更した時点で反映されます。画面を見ながら操作してください。

メニュー画面の構成は以下の通りです。設定を行う画面を選択し、設定項目を変更します。

メニュー	
レンズ	電子光量調整
フォーカス調整	オフ
露光	◀
逆光補正	オフ
デイ&ナイト	外部 ▶
ホワイトバランス	◀
デジタルノイズ除去	中
イメージ	◀
モーション	オフ
システム	◀
終了	

- レンズ - - - - - 光量調整機能を選択します。
- フォーカス調整 - - - - - フォーカスゲージ画面を表示させます。
- 露光 - - - - - 明るさについて設定します。
- 逆光補正 - - - - - 逆光補正機能を調整します。
- デイ&ナイト - - - - - 昼夜の切替について設定します。
- ホワイトバランス - - - - - 映像の色味の調整を行います。
- デジタルノイズ除去 - - - - - 映像のノイズ除去機能を設定します。
- イメージ - - - - - 映像の表示について調整します。
- モーション - - - - - 動体検知機能の設定をします。
- システム - - - - - カメラのシステム設定を行います。
- 終了 - - - - - メニュー設定を終了します。

## 5-2 レンズ

必ず「電子光量制御」で使用してください。

## 5-3 フォーカス調整

必ず「オフ」で使用してください。

## 5-4 露光

明るさやシャッタースピードを調整します。  
中央のボタンを押し、次画面へ移動して各項目を設定します。

<明るさ>

画面全体の明るさを「(暗)0~20(明)」より調整します。

<シャッタースピード>

- オート：「通常」と「ぼやけ補正」があります。「通常」で使用してください。
- マニュアル(固定)：シャッタースピードを固定します。「1/30~1/30000」の間で選択します。
- OF L I C K E R：蛍光灯のフリッカ(50Hz地域使用時)を低減します。

<デジタルスローシャッター>

低照度時のスローシャッター速度を、「x2~x32/オフ」より調整します。  
※スローシャッター時には、動体に残像が出る場合があります。

<オートゲインコントロール>

オートゲインコントロールの設定数値を「(低)0~20(高)」に設定します。

<戻る>

## 5-5 逆光補正

逆光に対する補正を調整します。  
「オフ」逆光補正をしない状態です。

「ハイライト補正」光源など光の強い部分を黒く塗りつぶした状態で表示します。

<レベル>塗りつぶし範囲を「(広い)0~20(狭い)」より調整します。狭く設定した場合、光源部分のみを塗りつぶします。

<カラー>塗りつぶす色を「黒/白/黄/シアン/緑/マゼンタ/赤/青」より選択します。

逆光補正(ハイライト補正)

レベル	10
カラー	BLK
戻る	

「バックライト補正」逆光が強い場合に、背景の光源を抑制し手前の映像がよく見えるよう抑制する光源の位置に補正エリアを設定します。(下図参照)

<水平 位置>

枠が「(左)0~20(右)」の数値分、左右に移動

<垂直 位置>

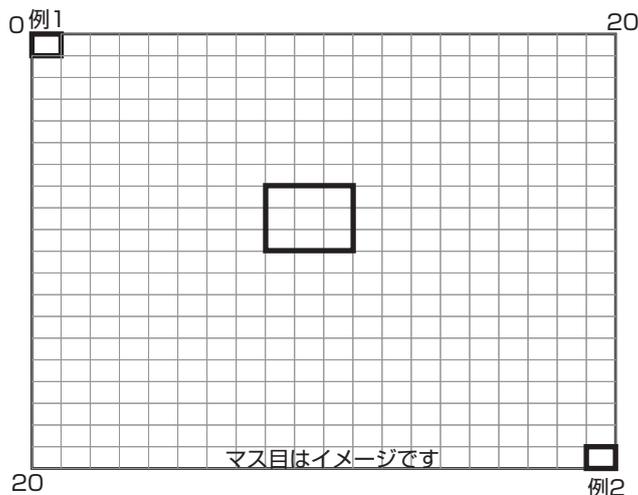
枠が「(左)0~20(右)」の数値分、上下に移動

<水平サイズ>

枠が「(左)0~20(右)」の数値分、横幅が伸縮

<垂直サイズ>

枠が「(左)0~20(右)」の数値分、縦幅が伸縮



初期値)  
水平 位置 : 8  
垂直 位置 : 7  
水平サイズ : 3  
垂直サイズ : 3

例1)  
水平 位置 : 0  
垂直 位置 : 0  
水平サイズ : 1  
垂直サイズ : 1

例2)  
水平 位置 : 19  
垂直 位置 : 19  
水平サイズ : 1  
垂直サイズ : 1

「WDR」機能を有効にする場合の強度をレベルの「低/中/高」から選択します。

## 5-6 デイ&ナイト

昼 / 夜のモード切替について設定します。

「外部」

<切替感度>

デイ / ナイトモードの切替わる際の光量感度を「(低) 0 ~ 20(高)」に切り替えます。

<EXTERN SW>

EXTERN SW: C D S動作を行う場合、levelが高低

<D>N THRES>

デイ / ナイトモードの切替わる際の光量感度を「(低) 0 ~ 20(高)」に切り替えます。

<N>D THRES>

デイ / ナイトモードの切替わる際の光量感度を「(低) 0 ~ 20(高)」に切り替えます。

<切替待機時間>

デイ / ナイトモードの切替わる時間を「(速)低 / 中 / 高(遅)」より選択します。

「オート」設定値に従い自動的にモードを切り替えます。

<切替感度>

デイ / ナイトモードの切替わる際の光量感度を「(低) 0 ~ 20(高)」に切り替えます。

<AGCしきい値>

AGC機能が有効となる位置を「(低) 0 ~ 20(高)」より設定します。

<AGCマージン>

AGC機能が有効となる前後の余白について「(狭) 0 ~ 20(広)」より設定します。

<切替待機時間>

デイ / ナイトモードの切替わる時間を「(速)低 / 中 / 高(遅)」より選択します。

「カラー」常にカラーモードで稼働します。夜間などは低照度モードで稼働します。

「モノクロ」常にモノクロモードで稼働します。

デイ&ナイト(オート)	
切替感度	8 ———
AGCしきい値	10 ———
AGCマージン	10 ———
切替待機時間	中
戻る	←

## 5-7 ホワイトバランス

映像の色みについて調整します。

<AWB>

○オート：オートでの使用を推奨します。水銀灯や特殊な光源を使用している環境では、項目を変更するなど設定して環境に応じた映像に設定してください。

○オート2：色味を見ながら選択します。

○ワンブッシュ：中央のボタンを押し続けている間の映像でホワイトバランスを設定します。ボタンを離した瞬間の設定を保存します。

○マニュアル：(C-TEMP) 色温度を「5000K/8000K/3000K」より選択します。  
(赤レベル/青レベル) 赤味、青味を設定します。

<彩度>

「模糊(0) ~ (20)鮮明」より調整します。

AWB(マニュアル)	
C-TEMP	5000K
赤レベル	10 ———
青レベル	10 ———
戻る	←

## 5-8 デジタルノイズ除去

映像内のざらつき(ノイズ)を補正します。夜間映像などのノイズを除去します。必要に応じて設定してください。

]設定は、「中 / 高 / オフ / 低」の中から選択します。

## 5-9 イメージ

カメラ映像の表示方法について調整します。

映像出力全体の表示に影響します。昼夜の映像の違いを考慮し、必要に応じて設定してください。

### <シャープネス>

映像内のエッジを強調します。実際の映像を確認して設定します。

「0(ソフト)～5(標準)～10(強調)」の間で設定します。

### <ガンマ>

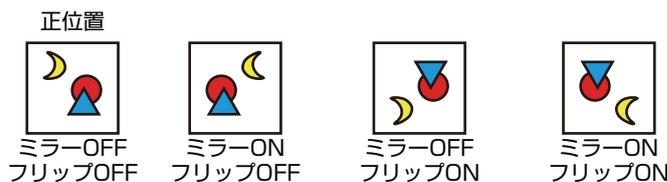
映像出力の明るさを補正します。「(明) 0.45～0.75(暗)」の間で調整します。

### <ミラー>

「オン/オフ」切り替えができます。「オン」の時、映像を左右反転にします。

### <フリップ>

「オン/オフ」切り替えができます。「オン」の時、映像を上下反転にします。



### <デジタルズーム>

現在の映像を拡大します。撮影中の映像を引き伸ばすため、「1.0x～16.0x」までの間で設定できます。設定した数値で撮影を継続します。

### <ACE>

映像の明暗差均等にするよう調整します。「オフ(標準) / 低 / 中 / 高」から選択します。

### <曇り除去>

○オフ：通常は「オフ」で使用します。

○オン：霧がかかった状態になりやすい環境の場合「オン」にします。明暗差を強くし、視界不良を軽減します。

・モード：「オート」と「マニュアル」があります。「マニュアル」を選択した場合、レベルを「中/高/低」から選択します。

### <シェーディング>

○オフ：通常は「オフ」で使用します。

○オン：「レベル」より補正の強さを「0%～100%」に調整できます。

### <プライバシー>

次ページで説明します。

イメージ	
シャープネス	5 —
ガンマ	0.55
ミラー	オフ
フリップ	オフ
デジタルズーム	1.0X
ACE	オフ
曇り除去	オフ
シェーディング	オフ
プライバシー	←
戻る	

## 5-9 イメージ

### <プライバシー>①

表示させたくない部分をマスキングします。

OB 0 X: 四角形のマスク設定をします。

「OFF」⇔「ON」で切り替えます。「ON」の場合、別画面に切り替えて設定します。

OPOLYGON: 多角形のマスク設定をします。

「OFF」⇔「ON」で切り替えます。「ON」の場合、別画面に切り替えて設定します。次のページで詳しく説明します。

プライバシー	
BOX	オフ
POLYGON	オフ
戻る	←

### -BOX-

BOX(プライバシー)	
エリアナンバー	0
エリア表示	オン
水平位置	12
垂直位置	2
水平サイズ	3
垂直サイズ	3
Y LEVEL	10
CB LEVEL	10
CR LEVEL	10
TRANS	2
戻る	←

#### <マスキングセル>

「0～15」より操作するBOXを選択します。

#### <マスキングモード>

「ON」⇔「OFF」で切り替えます。「ON」の場合、BOX操作が可能です。

#### <水平位置>

「(左)0～60(右)」左右に移動します。

#### <垂直位置>

「(上)0～34(下)」上下に移動します。

#### <水平サイズ>

「(狭)0～40(広)」左右に伸縮します。

#### <垂直サイズ>

「(低)0～34(高)」上下に伸縮します。

#### <Y LEVEL>

「(黒)0～20(白)」マスクの色を調整します。

#### <CB LEVEL>

「(黄)0-20(青)」マスクの色を調整します。

#### <CR LEVEL>

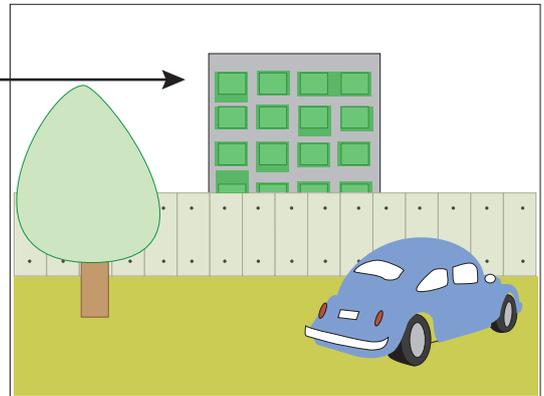
「(緑)0-20(赤)」マスクの色を調整します。

#### <TRANS>

「(不透明)0～3(透明)」よりマスクの透明度を選択します。

エリアナンバー (初期位置)					
0	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11
12	13	14	15		

この様にそれぞれの窓にマスクをすることが、可能です。



例) BOX12の場合 (定位置 H12・V10・サイズ H3・V3)

<マスキングセル>を12にします。

上図の12のBOXの操作が可能になります。

水平位置の数字を小さくすると左に移動します。数字を大きくすると右に移動し、13側のBOXに重なります。

垂直位置の数字を小さくすると上に移動し、6側のBOXに重なります。数字を大きくすると下に移動します。

水平サイズの数字を小さくすると左に縮みます。数字を大きくすると右に広がり、13側のBOXに重なります。

垂直サイズの数字を小さくすると上に縮み、数字を大きくすると下に伸びます。

(※H、V、共にサイズを「0」にした場合、直径2mm程度の「点」になります。)

※設置に関して、被写体となる不特定多数の個人のプライバシーを侵害することがないように、十分留意する必要があります。

Y、CB、CRレベルともに10の場合、薄い灰色になります。

Y、CB、CRレベルともに20の場合、ピンク色になります。

Y、CB、CRレベルともに0の場合、濃い緑色になります。

## 5-9 イメージ

### <プライバシー>②

-POLYGON-

POLYGON( プライバシー)	
➔ エリアナンバー	0(0~7)
エリア表示	オン/オフ
POS0-X	80
POS0-Y	5
POS1-X	88
POS1-Y	5
POS2-X	88
POS2-Y	13
POS3-X	80
POS3-Y	13
Y LEVEL	10
CB LEVEL	10
CR LEVEL	10
TRANS	2
戻る	↩

<マスキングセル>

「0~7」より操作するBOXを選択します。

<マスキングモード>

「ON」⇔「OFF」で切り替えます。「ON」の場合、ポリゴン操作が可能です。

<POS0-X>

「(左)0~120(右)」【図1】の[0]が左右に伸縮します。

<POS0-Y>

「(上)0~68(下)」【図1】の[0]が上下に伸縮します。

<POS1-X>

「(狭)0~120(広)」【図1】の[1]が左右に伸縮します。

<POS1-Y>

「(低)0~68(高)」【図1】の[1]が上下に伸縮します。

<POS2-X>

「(左)0~120(右)」【図1】の[0]が左右に伸縮します。

<POS2-Y>

「(上)0~68(下)」【図1】の[1]が上下に伸縮します。

<POS3-X>

「(狭)0~120(広)」【図1】の[0]が左右に伸縮します。

<POS3-Y>

「(低)0~68(高)」【図1】の[1]が上下に伸縮します。

<Y LEVEL>

「(黒)0~20(白)」マスクの色を調整します。

<CB LEVEL>

「(黄)0-20(青)」マスクの色を調整します。

<CR LEVEL>

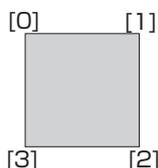
「(緑)0-20(赤)」マスクの色を調整します。

<TRANS>

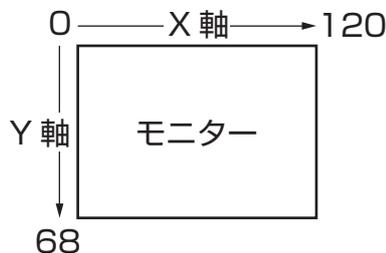
「(不透明)0~3(透明)」よりマスクの透明度を選択します。

Y、CB、CRレベルともに10の場合、薄い灰色になります。  
Y、CB、CRレベルともに20の場合、ピンク色になります。  
Y、CB、CRレベルともに0の場合、濃い緑色になります。

【図1】マスキングセル



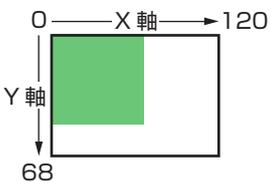
【図2】XY軸



例) 何れかのマスキングセル(どのマスキングセルを使っても同じです。)

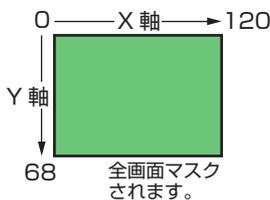
<例①の場合>

POS0-X 0  
POS0-Y 0  
POS1-X 50  
POS1-Y 0  
POS2-X 50  
POS2-Y 50  
POS3-X 0  
POS3-Y 50



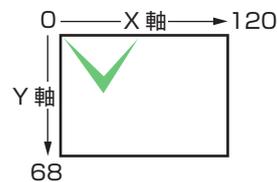
<例②の場合>

POS0-X 0  
POS0-Y 0  
POS1-X 120  
POS1-Y 0  
POS2-X 120  
POS2-Y 68  
POS3-X 0  
POS3-Y 68



<例③の場合>

POS0-X 15  
POS0-Y 20  
POS1-X 30  
POS1-Y 0  
POS2-X 15  
POS2-Y 15  
POS3-X 0  
POS3-Y 0



※全てのセルはX軸とY軸に基づいてポリゴンを作成します。  
BOXマスキングのような移動設定はできません。

## 5-10 モーション

カメラが映像内で動きを検知した際に、検知され警告とエリアを画面上に表示します。  
 動体検知（モーション）の警告は外部に出力されません。映像にのみ表示されます。  
 「オフ」初期値です。  
 「オン」感度や感知エリアを設定ができます。

モーション	
DET WINDOW	←
感度	5
MOTION OSD	オフ
TEXT ALARM	オフ
SIGNAL OUT	オン
戻る	←

※設定を始める前に必ず、<MOTION OSD>を「オン」に設定してください。  
 動きに反応して、赤い枠がいくつも表示されます。

### <DET WINDOW>

検知させるエリアを設定します。設定した枠の中だけ赤い枠が表示されます。  
 初期値は画面全体が検知エリアになっています。

#### ○WINDOW USE :

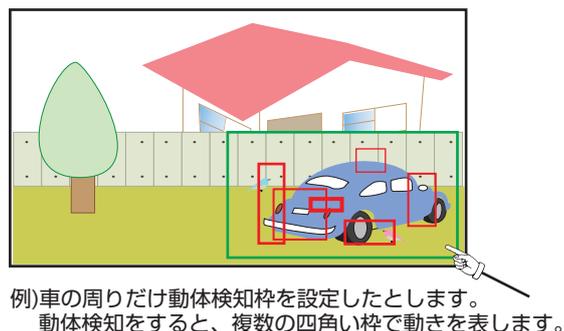
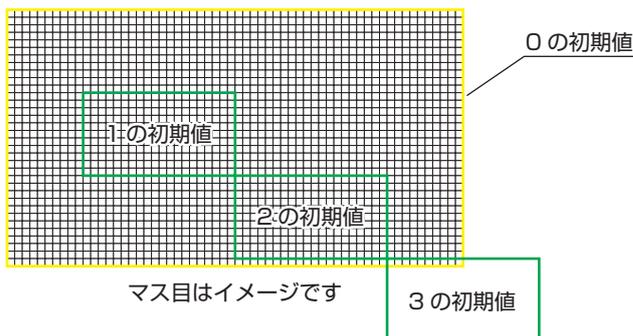
「0~4」の4種類のエリア設定が可能です。(それぞれ初期値が違います。)

DET WINDOW(0)	
WINDOW USE	0
WINDOW ZONE	オン
水平位置	0
垂直位置	0
水平サイズ	60
垂直サイズ	34
戻る	←

DET WINDOW(1)	
WINDOW USE	1
WINDOW ZONE	オフ
水平位置	10
垂直位置	11
水平サイズ	20
垂直サイズ	11
戻る	←

DET WINDOW(2)	
WINDOW USE	2
WINDOW ZONE	オフ
水平位置	30
垂直位置	22
水平サイズ	20
垂直サイズ	11
戻る	←

DET WINDOW(3)	
WINDOW USE	3
WINDOW ZONE	オフ
水平位置	50
垂直位置	33
水平サイズ	20
垂直サイズ	11
戻る	←



#### ○WINDOW ZONE :

検知や設定する場合は「オン」、しない場合は「オフ」にします。

「オン」時、選択中の窓枠は、黄色い枠になります。すでに設定済の枠は緑色です。

#### ○水平位置

枠が左右に動きます。画面で確認しながら「(左)0~60(右)」より数値を設定します。

「0」が一番左になり「60」にした場合、枠は画面右側の外になります。

#### ○垂直位置

枠が上下に動きます。画面で確認しながら「(上)0~34(下)」より数値を設定します。

「0」が一番上になり「34」にした場合、枠は画面下側の外になります。

#### ○水平サイズ

枠が横に伸縮します。画面で確認しながら「(狭)0~60(広)」より数値を設定します。

#### ○垂直サイズ

枠が縦に伸縮します。画面で確認しながら「(低)0~34(高)」より数値を設定します。

### <感 度>

検知感度を設定します。「(弱)0~10(強)」より設定します。

### <MOTION OSD>

モーション設定がオフになり、設定もできなくなります。

### <TEXT ALARM>

使用しません。

### <SIGNAL OUT>

使用しません。

## 5-11 システム

カメラのシステム部分の設定を行います。必要に応じて設定してください。

<通信>

使用しません。

<IMAGE RANGE>

○USER：手動でOFFSET「(暗)0～32(明)」より調整します。  
初期値(OFFSET16)で使用してください。

○FULL：使用しません。

○COMP：使用しません。

<色空間>

○HD-CbCr：このまま使用してください。

○YUV：使用しません。

○SD-CbCr：使用しません。

<フレームレート>

○1080\_30P：このまま使用してください。

○720\_30P：使用しません。

○720\_60P：使用しません。

<MONITOR>

○「0～3」：使用中のディスプレイの画像を確認しながら、適切なカラーモードを「0～3」より選択します。

<FREQ>

○NTSC：このまま使用してください。

○PAL：使用しないでください。

<CVBS>

○オン：このまま使用してください。

○オフ：アナログ信号です。オフを選択した場合、アナログ出力されません。

<言語>

○JAP：日本語のまま使用してください。(他に韓国語、イタリア語、英語、中国語があります。)

<カラーバー>

○オフ：このまま使用してください。

○オン：使用しません。

<CAM TITLE>

○オフ：カメラタイトルを非表示にします。

○オン：カメラにタイトルを付けることができます。

\*がある「0(初期値)」の文字をコントローラーの上下で「0、1～9/A～Z、スペース」より設定できます。

\*は、コントローラーの左右で移動します。中央のボタンを押すと決定になり、システムの画面に戻ります。

画面右上に変更したカメラタイトルを確認できます。

<リセット>

中央のボタンを押すことによって、全ての設定が初期値に戻ります。

### システム

通信	◀
IMAGE RANGE	USER
色空間	HD-CbCr
フレームレート	1080-30P
MONITOR	0
FREQ	NTSC
CVBS	オン
言語	JPN
カラーバー	オフ
CAM TITLE	オフ
リセット	オン
戻る	◀

# 保証書

株式会社NSKは、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。  
本製品は人命にかかわる医療機器等の用途には使用しないでください。  
高い信頼性が求められる用途に使用する場合はシステムの故障等の処置に万全を期してください。  
その場合、その結果に対しての損害賠償責任について弊社は負担いたしません。  
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保障期間内に故障・不具合が発生した場合、本保障規定に基づき無償修理・交換対応を行います。  
ただし、次のような場合には保障期間内であっても有償修理となります。  
(修理を依頼される場合の往復の送料はお客様のご負担となります)

- 1.本保証書がない場合
- 2.本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店の印字等の記入がない場合、またはご購入先や購入日が改ざんされている場合  
注:太字及び※印の項目は必ず記入願います。
- 3.取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障および損傷である場合
- 4.ご購入後の輸送・移動・移設・落下による故障および損傷
- 5.火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびそのほかの天変地異など、外部に原因がある故障および損傷である場
- 6.他の機器との接続に起因する故障・損傷である場合

## ■初期不良交換、修理の手続き

- 保証期間発生日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。
- お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。  
(送料については弊社負担とさせていただきます)  
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。  
また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が揃っていることが条件となります。
- 弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。
- 弊社ではセンドバック(先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する)方式でのみ、対応を行っております。
- 修理費用については販売代理店や購入店を通しての対応となります。

## ⚠ 注意

- 電源は家庭用AC100V(50Hz/60Hz)のコンセント以外で使用しないでください。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となります。
- 必ず付属のACアダプターを使用してください。
- ACアダプターのコードを傷つけたり、破損させたり加工したりしないでください。重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると、コードを傷め、火災、感電の原因となります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは使用しないでください。異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 動作環境範囲外で機器をご利用にならないでください。
- 本機を改造あるいは、分解しないでください。火災、感電の原因となります。また、内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。
- 長期間使用されるときは、安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。
- 落雷の恐れがある場合は、すみやかに本機を停止させ、コンセントからACアダプターを抜いてください。(停電時のブレーカーの入り切りによる突入電流が原因で機器が故障する場合があります。)
- 本機を次のような場所での使用や保管はしないでください。
  - 直射日光のあたる場所 ●特に高温低温になる場所 ●温度変化の激しい場所
  - 振動の多い場所 ●油煙、湯気、湿気があたる場所 ●静電気が多く発生する場所
  - 強い磁気や電磁波が発生する装置(発電機やアンテナ)が近くにある場所
  - 機器の仕様と合わない不安定な場所や、落下の危険がある場所
- 本機を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き通電停止の状態になってから配線を抜いて下さい。
- 金融機器、医療機器や人名に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

## ⚠ 録画機についての注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本機の通風孔をふさがしないでください。内部に熱がこもり、機器の不具合や火災の原因となることがあります。内蔵の記憶媒体は高温に弱い場合もあるため、適度な換気が必要です。
- 3年に一度を目安に内部の清掃や稼働点検を販売店に依頼してください。なお、内部清掃点検費用については、販売店にご相談ください。
- 主に録画装置に使用している記録媒体としてのハードディスクは、永久的に使用可能な媒体ではありません(消耗品扱いとなります)。次の留意点踏まえたくてご使用ください。
  - 衝撃、振動をあてないでください。 ●電源の入り切りを頻繁に行わないでください。
  - 推奨環境:周辺温度25℃以下 ●稼働時間18,000時間を超えた場合は交換を推奨します。
  - 録画データや運用設定などは必要に応じてバックアップをおこなってください。
- 本機の利用に際し、故障や誤動作、不具合などによってデータの消失などの障害が発生しても、弊社では保証しかねることをあらかじめご了承ください。

## ■ご注意

- 本機の故障・誤動作・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
  - 通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
  - 本機のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保障するものではありません。また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがあります。
  - ハードウェア、ソフトウェア(ファームウェア)、外観に関しては将来予告なく変更されることがあります。
  - ソフトウェア(ファームウェア)、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
  - 一般的にインターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要となります。
  - 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末の台数、機能、回線の利用率などについて設定を行っている場合がありますので、通信事業者と端末機器の導入に際して契約内容などをご確認ください。このため弊社機器はすべての公衆網との接続を保障するものではありません。通信事業者側の環境においては通信機能を有効にできない場合もありますのでご了承ください。
  - 公衆網に関連してDDNSサーバーのサービスを利用できる機器については、サーバーの臨時メンテナンスや、サーバー設備の障害、やむをえない事情によるサービス提供の停止、などの理由によりサービスを継続的に提供できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
  - 本機を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
  - 本機及び弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。
- ## ■免責事項
- お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。
  - お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
  - 製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
  - 製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保障いたしません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in japan.

## 製品保証書

※保証期間	ご購入日 年 月 日 より <b>1年間</b>
製品型番	<b>NS-HD800IRMPX</b>
※製造番号 シリアルNO.	
お客様 連絡先	お名前
	ご住所
ご購入 代理店様 所在地	

株式会社NSK

〒461-0043 名古屋市中区大幸1丁目10-15

弊社HP: <http://www.n-sk.jp>

お問合せMail: [hp@nsk-sec.co.jp](mailto:hp@nsk-sec.co.jp)